

匝瑳市消防委員会
— 会議結果概要 —

○開催日時 平成30年10月2日（火）
午前10時00分～午前10時45分

○場 所 匝瑳市役所議会棟2階第2委員会室

○出席委員 第1号委員 椿日出男、都祭広一、宮内康幸
第2号委員 秋山忠史、及川正義、宮崎良喜
第3号委員 畔蒜晴夫、藤井嘉徳、及川重幸、太田康晴、
子安馨、鈴木淳一

（名簿順）

○欠席委員 無し

○市出席者 太田安規市長
（事務局／総務課）宇井和夫課長、眞名田行儀主査、塚本裕也副主査

1 開 会

2 市長あいさつ

太田安規匝瑳市長あいさつ

3 委員紹介

第1号委員 椿日出男委員から席順に自己紹介。

4 仮議長選出

互選により藤井嘉徳委員を選出。

5 議 事

(1) 委員長の選出について

互選により藤井嘉徳委員を選出。

(2) 消防団の現状について（報告）

(ア) 組織について

<事務局説明>

資料に基づき説明。

主な意見、質問及び回答等

○豊和分団第3部の定数が15名のところ実員は8名であるが、小型動力ポンプ付積載車については、何名で出動可能となるのか。

<事務局>

火災出動時等においては、3名の体制が整った時点で出動している。

<椿委員>

匝瑳市内山地区は、戸数が130軒程度しかない状況のため、定数を満たすことが困難である。

退団者に対して、再度団員になってもらうようお願いすることがよいのか。または、豊和分団を2部体制に再編成する等を行わなければ、将来的に分団の維持が困難になってくると考える。

<藤井委員長>

火災出動時等においては、3名の体制が整った時点で出動とのことだから、3人集まれば出動し、1人、2人の場合は消防機庫にて待機でよいと考える。

<椿委員>

日中において、消防団員が集まるのが困難な場合、地域住民等が消防車に乗って出動することは可能か伺いたい。

<事務局>

火災発生時において、近隣住民等が消火活動の支援を行うことは可能であるが、消防車に乗って出動することは、公務災害補償上の問題があるため、困難である。

<都祭委員>

消防団における分団の編成や統合について、団員確保が困難になっている状況により、昨年度、椿海分団において統合を検討していた旨を聞いている。他の分団においても同様の検討がされているのか伺いたい。

<事務局>

団員確保については、今年度の匝瑳市消防団役員総会において、機能別消防団員の導入に向けて、本格的な検討を行うことが決定したため、現在、制度設計等について、消防団長を含めた消防団幹部と協議中である。

今後、体制が整った段階において、機能別消防団員を実施に向けて進めていく予定である。

<都祭委員>

確認だが、各分団における個別の検討ではなく、匝瑳市消防団全体における検討ということによいか。

<事務局>

そのとおりである。

(イ) 報酬、費用弁償について

<事務局説明>

資料に基づき説明。

主な意見、質問及び回答等

○特になし

(ウ) 消防車両、施設等について

<事務局説明>

資料に基づき説明。

主な意見、質問及び回答等

○特になし

(3) 消防団事業の実施状況及び実施計画について（報告）

＜事務局説明＞

資料に基づき説明。

主な意見、質問及び回答等

○特になし

(4) その他

○過日の台風24号の接近に伴い、匝瑳市管内において、どの程度の被害が発生したのか伺いたい。

＜事務局＞

台風24号による暴風に伴い、市内において多数の倒木により、停電が広範囲にわたって発生した状況である。

＜宮内委員＞

機能別消防団員について、具体的な編成方法や出動条件等を決めているのか伺いたい。

＜事務局＞

機能別消防団員の導入に向けた具体的な内容については、案を消防団幹部等に示し協議済みであり、現在は、各分団に対して意見を募集している状況である。

＜宮内委員＞

防災リーダーの育成について、消防団員は、災害現場における経験を有し、比較的若い世代が多いことから、リーダーシップを発揮できると考えるため、防災リーダーの育成に消防団員を加えてみてはどうか。検討願いたい。

＜事務局＞

消防団員が防災リーダーとなることについては、防災上の大きな力になると考える。今後、育成に係る講習等を検討していきたい。

6 閉 会